

〔視点5〕 学びに主体性をもたせる家庭学習

1 家庭学習の習慣化について、学校全体で組織的に取り組む。

◆ 主体的な学習者の育成

全ての生徒に育成を目指す資質・能力を確実に育んでいくためには、主体的に学び続ける学習者を育てる観点から、学校における学習指導の充実とともに、家庭学習の習慣化に取り組むことが重要です。

家庭学習の習慣化は、生活習慣の改善と大きな関わりがあり、スマートフォンやゲームの使用時間の増加が、家庭での学習時間の確保に影響を及ぼしていると考えられることから、「家庭での学習習慣の確立」と「生活習慣の改善」を併せた取組が大切です。

◆ 家庭学習の方針の共通理解、優良事例の共有

家庭学習の習慣化に当たっては、家庭学習の内容や量など、発達の段階に応じた家庭学習の方針について全教職員で共通理解を図るとともに、効果的な指導や評価について、教職員間で話し合う機会を設定し、優良事例を共有することが重要です。

【POINT】

- ・廊下や玄関ホールに家庭学習ノートを掲示するなど、学年や学級の取組を可視化し、優良事例を共有します。
- ・中学校区で家庭学習強化週間を実施するなど、地域全体で取り組むことにより、保護者の理解と協力を得られやすくします。

2 自主学習と宿題のねらいを明確にし、段階的に取り組ませる。

◆ 自ら学ぶ力の育成

家庭学習のねらいは、「自ら学習課題を見出し、学び続ける学習者を育てる」自主学習としての側面と、「学習内容の定着を図る」宿題としての側面があります。

発達の段階に応じて、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図る宿題の取組に加えて、自分に必要な学習内容を考える自主学習の取組を取り入れ、段階的に質や量の充実を図ることにより、自ら学ぶ力の育成を図ることが重要です。

【POINT】

- ・家庭学習の習慣は、教師や保護者の適切な支援により身に付きます。生徒の自主学習や宿題の取組状況を点検し、努力を価値付けたり、必要な支援を行ったりすることにより、学習意欲や継続力が向上します。
- ・自主学習を促進するために、課題の例として「自主学習メニュー」を示したり、自分に合う教材を選択できるように「学習プリントコーナー」を設置したりします。

3 授業と関連した学習課題を設定する。

◆ 授業の学びが生き、授業の学びに生きる課題設定

単元全体を通して資質・能力を偏りなく育成するためには、授業と関連した家庭学習の課題を設定し、授業の予習や復習、発展的・補完的な学習内容に取り組ませることが重要です。

授業の終末では、生徒が学習内容や学習方法を振り返り、自分の学習課題を自覚することにより、家庭学習に主体的に取り組むことが期待できます。

【POINT】

- ・単元の目標とする資質・能力に基づき、単元の指導計画を見通して家庭学習の課題を設定します。

〔授業と関連した家庭学習の課題例〕

- 本時は話し合いを中心に展開するため、前日に話し合いに必要な知識を予習する課題
- 本時で学習した知識や技能の定着を図るために、本時の学習内容を復習する課題
- 授業で十分に確保できない時間を補うため、家庭学習で発展的に調べる課題